

1. 実習のなかで、子どもが本日のテーマのような地質学の世界をより身近に感じるようになった活動は何だと思えますか？
  - 自分で化石を採取して何の化石か考えたところ。割ってもなかなか出てこない、出てきても一部の面で何かわからない。団体で行っている所以他の子供が掘り出した物が見られる。そこで種類を考えたり部位を悩むこと。
  - 石の採取の時、岩石がどのようにできたか、自分の見つけた石について説明を聞いている時など。
  - 海岸でのいろいろな石の採取やミュージアムでの化石の採掘など普段身近にある石を時間をかけて手に取ってみたこと。
2. 今日の実習の意義（以下の選択肢で最も当てはまるものの番号を○で囲んでください）
  - a 大変意義があった(17名)
  - b 少し参考になった(1名)
  - c どちらともいえない
  - d あまり参考にならなかった
  - e まったく意義が無かった
3. 今日の実習で良かった点、あるいは悪かった点について、具体的なことがらを記載してください。
  - TAのみなさん（地質関係）が石拾いや鑑定会でしっかり子供をフォローしてくれて子供たちが飽きることなく楽しめた。
  - 予習資料で岩石の種類を学び、今日の活動の目的のいろいろな種類の岩石を集めるということが、キチッとリンクしていて、活動時に種類ごとの特徴を意識して探せたところがよかったです。
  - もう少し時間がほしかった。（似た記載多数）
4. 実習の効果（これまでの実習に参加したことによって、身の周りの現象等の見方について、お子さんの成長あるいは保護者ご自身の変化がありましたら、ご記入ください）
  - 先日の「中秋の名月」の際に、（以前の講座で）制作した望遠鏡で月を観察していた。
  - 先生方にも積極的に質問するようになった。
  - もともと石が好きでよく持ち帰ってくるのですが、知識があったわけではなく、眺めて終わっていましたが、よく調べては予想（石の状況など）するようになりました。
5. その他（本連続講座についての感想、あるいは要望など、ご自由にお書きください）
  - フォッサマグナムミュージアムの学芸員、職員の方々の対応が親切でとても好感がもてた。
  - 地層も見たかった。
  - 現役学生との触れ合いで、生の声から学べるところがいいです。